



## 第 182 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 2

令和 7 年 8 月 26 日

広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター共催  
国際シンポジウム開催について（9/16 開催）

CO<sub>2</sub> 増加に対する海洋生態系の応答を研究する国際拠点 ICONA (International CO<sub>2</sub> & Natural Analogue network) と広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センターが共催するシンポジウム "Synthesizing ICONA activity and Future Directions for Climate Change" (「気候変動に対する ICONA の活動と将来構想」) を下記のとおり開催いたします。

人為起源 CO<sub>2</sub> の増加は、地球温暖化だけでなく海洋酸性化や海洋貧酸素化といった地球規模の環境変動を引き起すため、その影響を予測して対策を講じることが喫緊の課題です。自然に生じた高 CO<sub>2</sub> 水域（火山性 CO<sub>2</sub> ガスの噴出海域等）を相互に利用する国際ネットワーク (ICONA) ではこれまでに、日本・イタリア・ニューカレドニア・パラオ・パプアニューギニアなどで発見された多様な高 CO<sub>2</sub> 海域で国際合同調査を行い、海藻・サンゴ・魚・無脊椎動物・微生物など多岐にわたる生物群の調査を基に生態系の将来予測を行ってきました。これらの成果は、世界的にも高く評価され、国連海洋科学の 10 年 (2021-2030 年 : UN Ocean Decade) の Decade Action に認められ、2030 年を目標とする SDGs の達成に貢献することが期待されています。

シンポジウムでは、日本、イタリア、フランス、イギリスなど、ICONA に属する各国の研究者らが集結し、これまでの 5 年間の成果を総括するとともに、2030 年までの道筋を議論するための機会を提供します。

日時：2025 年 9 月 16 日（火）13:00-17:30

会場：広島大学フェニックス国際センター ミライクリエッセント会議室

内容：「気候変動に対する ICONA の活動と将来構想」

プログラム：

13:00-13:05 Opening Remarks

13:05-13:45 講演 1

Prof. Jason Hall-Spencer : イギリス・プリマス大学

13:45-14:25 講演 2

Dr. Sylvain Agostini : フランス（ニューカレドニア）・

Institut de Recherche pour le Développement

14:25-15:05 講演 3

Dr. Davide Spatafora : イタリア・Stazione Zoologica Anton Dohrn

15:05-15:10 Break  
15:10-15:55 講演4  
Prof. Shigeki Wada : 日本・広島大学  
15:55-16:40 講演5  
Dr. Michael Izumiya : 日本・琉球大学  
16:40-17:25 講演6  
Prof. Marco Milazzo : イタリア・パレルモ大学  
17:25-17:30 Closing Remarks

使用言語：英語

＜取材について＞

メディアの方は、すべてのプログラムについて、傍聴、撮影、および講師・参加者へのインタビューが可能です。また、取材当日は広島大学の責任者（瀬戸内CN国際共同研究センター：和田茂樹教授）へのインタビューが可能です。当日、受付にてお尋ねください。

【お問い合わせ先】

広島大学瀬戸内CN国際共同研究センター  
教育研究補助職員 上野 恭子  
TEL:082-424-4540

# 気候変動に対するICONAの活動と 将来構想

2025年9月16日 午後1時～5時半

場所：広島大学ミライクリエ2階大会議室

海洋酸性化の疑似生態系の紹介と  
サンゴ藻類の重要性



**Jason Hall-Spencer**  
Professor, Plymouth  
University, UK  
School of Biological  
and Marine Sciences

イタリアのCO<sub>2</sub>噴出海域における  
調査



**Davide Spatafora**  
Researcher,  
Stazione Zoologica  
Anton Dohrn, Italy  
Integrative Marine  
Ecology Department

CO<sub>2</sub>シープから見える海洋酸性化に  
対する魚類のゲノム応答

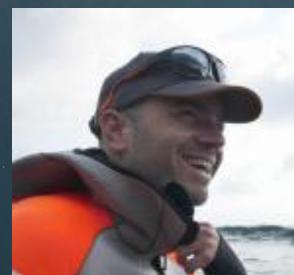


**Michael Izumiya**  
Researcher, Ryukyus  
University, Japan  
Faculty of Science

参加費は無料です。  
QRのコードでご登録  
ください



サンゴに対する気候変動と海洋酸性化  
の影響：自然の実験室からわかるこ



**Sylvain Agostini**  
Researcher, Institut  
de Recherche pour  
le Développement,  
New Caledonia  
UMR Entropie

日本近海のCO<sub>2</sub>シープ：CO<sub>2</sub>に対する  
応答の生態系間の差



**Shigeki Wada**  
Professor, Hiroshima  
University, Japan  
Seto Inland Sea CN  
Research Center

気候変動が迫る中で必要となる浅  
海域海底噴出域の保全



**Marco Milazzo**  
Professor, University  
of Palermo, Italy  
Department of Earth  
and Marine Science

